

羽ノ浦中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- UDの視点を取り入れ、ICTを効果的に活用した主体的・対話的な深い学びの実現
- 授業3分前着席と自主学習ノートの内容の充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 西 順子 研修主任 江口 文	委員	校長:川尻 仁和
		教頭:吉岡 博文
		坂部 佳孝
		教務主任:多田幸子
		1年主任:片山博文
		2年主任:太田 健
		3年主任:平井正美

校長

川尻 仁和

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

全教職員による授業参観等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○毎朝のセミナー学習や朝読書をする習慣が定着し、自主学習ノートに真面目に取り組むことができる。 ○タブレット端末を利用し、基礎・基本の習得に向けて、意欲的に取り組もうとする生徒が多い。 ●与えられた課題には取り組めて提出できるが、その内容には個人差があり、さらに充実を図る必要がある。	・毎朝のセミナーや宿題を提出し、自主学習ノートを活用して、基礎的・基本的な知識技能を積極的に身につけようとする。 ・習得した知識を、他の学習や生活の場面で活用することができる。	・「本時のめあて」を提示し、この時間に何を学ぶのかを明確にさせる。 ・授業の終わりに本時のふり返しを行う。 ・各生徒がタブレットを使う授業でオープンクラスを行い、学年や教科の枠をこえて、教員同士で授業参観を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題解決に向けての方法を具体的に示すと、一生懸命に取り組める。 ●自分の思いや考えを、筋道を立てて話したり文章で表現したりすることを苦手としている生徒が多い。	・自分の考えを、その場に応じた適切な言葉遣いで書いたり話したりして積極的に伝えようとする。 ・間違いや失敗を恐れなくて、他の人と進んで考えを共有しようとする。	・自分の考えを、筋道を立てて文章に書いたり話したりして伝える機会を、学習活動の中で意図的に設ける。 ・ペア学習やグループ学習以外にも、お互いの意見を共有させる方策を考え、取り入れる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に対する姿勢や与えられた課題に対する取り組みは、良好である。 ○タブレット端末を利用した学習活動に意欲的に取り組もうとする生徒が多い。 ●与えられた課題以外に、自ら課題を見つけて計画を立て、学習していこうとする意欲が少ない。	・授業開始3分前に着席し、その時間の予習を行う。 ・各教科の授業や家庭での自主学習に主体的に取り組むことができる。	・授業開始3分前行動を教師も一緒になって行う。 ・学期に1回「自主勉ラリー」を行い、学級ごとの自主学習ノートへの取り組みを公表し、家庭学習への意欲を喚起する。 ・テストを機会にして学習目標や学習計画を立て、家庭学習の習慣化を図る。			

令和5年度 学力向上ロードマップ



